

ふれあいの橋の会

REPORT さかい

と き 2026年3月19日(木) 10:00~11:30

訪問先 訪問看護、訪問リハ、訪問介護 境港市誠道町 2082

出席者 【委員】 川口 昭一、遠藤 博江、遠藤 恵子

【さかいエリア】 濱田 壮 (さかいエリア総合施設長)

矢倉 美紀子 (訪問看護ステーション さかい幸朋苑 管理者・主任)

門永 愛史 (訪問リハビリテーション事業所さかい幸朋苑 主任)

稲田 英子 (ホームヘルプさかい幸朋苑 管理者・係長)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

Sakai Area Report

■さかいエリアの現況

開会(荒井)：本日は、自宅を訪問してサービス提供する訪問看護、訪問リハ、訪問介護の3事業所を対象とします。来年度の「ふれあいの橋の会」のスケジュール表を配布していますので、濱田総合施設長から補足説明をお願いします。中本委員と植田委員は、小学校の卒業式に出席されていますので欠席です。

濱田総合：委員の皆様には、多忙の中ご出席をいただき有難うございます。4月からのスケジュールでは、各事業所の見学に加え、こうほうえんの取り組みを知っていただく機会にしたいと考えています。「ユマニチュード」「褥瘡予防」「リスク」「認知症」「看取り」などについてご紹介する予定です。視察来訪者や家族会役員会でも取り組み状況を説明していますが、「こういうことまでしているのか」と感心されることが多いです。例えば、ユマニチュードのケアでは、「見る、話す、触れる、立つ」の4つの柱をケアのベースにしていますが、職員はこれに基づき一生懸命取り組んでいます。委員についても増員したいと考えています。①



■施設の現況・課題

荒井監事：本日は訪問系の事業所のため、ご利用者にはお会いできませんが、取り組み状況の説明を受けた後、皆さんからの提言をいただきたいと思います。

矢倉主任：**訪問看護**は、看護師等が自宅を訪問し、支援するサービスです。身体に疾患がある人や健康管理、医療措置が必要な人が対象になります。かかりつけ医や病院・診療所の医師の指示に基づいて、療養上の世話や医療処置、リハビリを行っています。看護師5名と必要に応じてリハビリスタッフも訪問します。40～90歳代、40～45名の人を支援しています。がん末期や難病の人、呼吸器不全など医療措置が必要な人、人工呼吸器や人工肛門などの管理が必要な人など様々です。看取りもしています。介護の不安で疲れ果てている家族、精神的な不安や葛藤で悩んでいる**家族に寄り添うように**しています。自宅で看取りをすることは、家族にとってはとても大変ですが、喜ばれています。私たちは、そうした感謝の言葉をいただくごとに、明日も頑張ろうという気持ちになります。現在5名の看護師で運営していますが、年齢が高くなっていますので、少し不安な面があります。

門永主任：さかい幸朋苑では、2021年4月から**訪問リハ**を開始しました。経験年数が10年以上の理学療法士（PT）2名、作業療法士（OT）3名、言語聴覚士（ST）2名で運営しています。管理者は、さかい老健の渡部信之施設長（医師）が兼務され、指示をいただいています。自宅での日常生活動作、家事動作など生活全体を見据えた包括的な支援を提供しています。外出し、**人との交流を希望される人**が多くいらっしゃいますので、ぜひ叶えてあげたいと思っています。医師が訪問できない場合は、リモートで繋ぎ、一人ひとりに合った対応をしています。言語聴覚士を配置している事業所は、こうほうえんだけで、失語症や摂食嚥下障害への訓練を実施しており、強みとなっています。要支援から要介護の76名が登録されています。



稲田係長：**訪問介護**は、住み慣れた自宅で自立した日常生活を送りたいという人を対象としています。入浴・排泄・食事などの「身体介護」や、調理・掃除などの「生活援助」を行う介護保険サービスです。72名が登録、要介護34名、要支援25名、障がいサービス9名、自費サービス1名など。利用者の内訳は、女性52名、男性20名。8名の職員で訪問しています。定期巡回・随時対応型訪問サービスは2012年にスタートした事業ですが、現在の利用は2名となっています。2月8日（日）の大雪の際には、利用者が待っておられると思い、時間調整をしながら訪問しました。



■事業内容について意見交換

濱田総合： 定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、24時間365日、日中・夜間を通じて、介護と看護の両方を定期的な巡回や随時対応で提供する地域密着型のサービスです。残念ながら利用者が減少傾向にあり、事業を休止して動向をみたいと考えています。小規模多機能型サービスは3つのサービスを柔軟に組み合わせて利用できるサービスで、もっと利用していただきたいサービスです。介護保険は3年おきに見直し、報酬改定をしています。地域の実態やニーズを反映した制度が望まれると思います。

遠藤恵子委員： 訪問系の事業所は、天候によってはとても大変な日があると思います。利用者にとっては、本当に有難いと思います。2月の大雪は、車が通行できない道路が多くありました。

稲田係長： 雨や風、雪など天候に左右されますが、職員はご利用者の笑顔を見るために、日々頑張っています。徒歩で訪問する場合があります。

濱田総合： こうほうえんは、365日休みなく対応しています。職員は大変ですが、ご利用者のことを考え、よく頑張っていると思います。

遠藤博江委員： 訪問介護は、家族がいてもサービスを利用できるものですか。

稲田係長： 家族の状態に応じて、提供できるサービスは異なります。

川口委員： 実父が脳梗塞になったころは、介護サービスがなかった時代で、病院に入院させました。今なら自宅で療養できたと思います。私は航空自衛隊を退職した後、ホームヘルパー2級の資格を取得しましたが、研修を通じて訪問介護の仕事は大変だと実感しました。

遠藤博江委員： 男女の寿命は異なりますが、夫の介護、面倒をみなくてはいけないので、健康に気をつけているという女性もいます。

矢倉主任： 夫の面倒は自分がみるので、介護サービスを利用しないという女性も多いです。

③



川口委員：自宅での看取りの報告がありました。昔はかかりつけ医が往診してくれましたが、救急車を利用するほうがいいのでしょうか。

矢倉主任：夜間でも往診してくれる医療機関がありますので、利用できます。

川口委員：一人暮らしの高齢者も多くなっています。安否確認をする仕組みが必要だと思います。

矢倉主任：遠方にいる家族がカメラを設置し、親の安否確認をしているという話を聞きます。

濱田総合：安否確認はできますが、遠方の場合、対応ができません。訪問介護とセットで考えないと役に立たないと思います。

川口委員：報道によりますと、自転車のようにペダルを回して進むタイプの車椅子があるようです。歩行が困難な人でも、わずかな筋力があれば移動できる可能性があります。筋力トレーニングにもなるのでいいですね。

濱田総合：知人がさかい特養に入所していますが、リハ職員のトレーニングのお陰で、話すことができるようになったそうです。「久しぶりに母親と会話できた」と家族が喜ばれていました。言語聴覚士の指導で効果が出たようです。

川口委員：フレイル予防の教室に参加しましたが、専門的な知識、技術を持った人が実践・指導すると効果が出ます。こうほうえんには、多くの専門職がおられます。様々な場面で活躍されることを期待しています。

門永主任：有資格者は、豊富な知識と経験で、適切な指導をしていますので、効果が出やすいと思います。

荒井監事：次回は、**4月16日(木) 10:00～ ケアプランセンター、境港市地域包括支援センター**です。

④

